

大学院理工学研究科RA研究発表会

Poster session, 'RA' Graduate School of Science and Engineering, CHUO UNIV.

日時	2021年11月26日(金) 12:30~17:20
共催	中央大学大学院理工学研究科・中央大学理工学研究所
発表方法	グーグルサイトでのポスター展示およびWebex Meetingsによるオンラインセッション
参加	参加無料。学内者はURLへご自由にお入りいただけます。学外の方は事前に参加申し込みをお願いします。 聴講者は、各自PC等機器をご持参の上、次の会場をご利用いただくことが可能です。 ■学生:6309号室 ■教員・研究員:31008号室 (いずれの会場も発表者は除く)
問合せ先	中央大学研究支援室 TEL(03)3817-1602・1678/FAX(03)3817-1677

◇12:30 ご挨拶 ◆研究開発機構長 石井 洋一 ◆理工学研究科委員長 梅田 和昇	◇17:15 ご挨拶 ◆理工学研究所長 鎌倉 稔成
--	------------------------------

専攻	RA氏名	『研究テーマ』	研究代表者
数学	1 杉山 佑樹	一般 Bott 多様体の同変指数について	高倉 樹
	2 山崎 雄一郎	Poisson 構造とその可積分性について	
	3 濱中 翔太	ある積分量エネルギーが有界な閉多様体上のリッチフロー	芥川 和雄
	4 黒田 大貴	Trigonal curve の moduli の有理性とコンパクト化	佐藤 周友
	5 小野 高裕	調和解析における関数空間の研究	澤野 嘉宏
	6 波多野 修也	調和解析における関数空間の研究	
物理学	7 河合 広樹	多波長観測による超巨大恒星フレアの発生機構の探求	坪井 陽子
	8 岡林 史憲	AdS/CFT 対応における Schwinger-Keldysh 形式	中村 真
	9 古川 晴貴	Quasinormal Modes in Holographic Weyl Semimetal	
	10 遠藤 大樹	統計力学モデルやランダム行列モデルの流体力学極限およびスケールリング極限に関する研究	香取 眞理
	11 郭 凱華	ゲージ・重力対応による Schwinger 効果の記述	中村 真
	12 須崎 颯	ゲージ重力双対によるウンルー効果と量子エンタングルメントの解析	
都市人間環境学	13 大野 純暉	巨岩・巨石で覆われた河川における巨石の移動に関する研究	檜山 和男
	14 岡山 士朗	山地流域からの土砂流出の多い扇状地河川の洪水流・河床変動解析に関する研究	
	15 石井 崇晃	可逆的膜ファウリングを抑制する凝集条件の自動判定	山村 寛
	16 島田 良	AIを用いた海岸における Covid-19 感染拡大防止に関する研究	小峯 力
	17 倪 稚茗	新たな非接触型電気防食技術に関する研究	大下 英吉
精密工学	18 顔 世荀	3次元点群データの位置合わせのための深層学習を用いた部分的特徴抽出	梅田 和昇
	19 小池 優巴	精密細胞操作に向けた微小物体操作手法に関する研究	早川 健
	20 伊藤 文臣	外骨格型生物を規範とした瞬発力発生機構によるキャビテーション発生の再現とその解明	中村 太郎
	21 金子 完治	高効率ナノ粒子回収システムの開発	鈴木 宏明

専攻	RA氏名	『研究テーマ』	研究代表者
応用化学	22 岡本 航	動物用人工血漿増量剤の開発	小松 晃之
	23 山田 大雅	白血病治療薬としてのポリオキサゾリン修飾アスパラギナーゼの合成	
	24 山田 翔大	ラジカル配位子の外場誘起不均化に基づく機能発現システムの構築	張 浩徹
	25 今泉 暁	モレキュラープリカーサーを用いた機能性無機構造の構築とその物性制御	
	26 伊藤 正太郎	重い元素で置換された反芳香族化合物の合成と性質	石井 洋一
	27 栗木 隆之介	低原子価高周期元素化合物の合成とその化学挙動	
	28 遠藤 純	熱水を用いた含ハロゲン化合物からの脱ハロゲン化反応	船造 俊孝
	29 小野寺 庸大	高圧混合流体の輸送物性の測定と推算	
	30 村田 佳亮	複雑な海洋産マクロド天然物の構造決定と完全化学合成	不破 春彦
	31 永井 優也	混合物のスペクトルデータのみから物質と濃度の推定	片山 建二
	32 古屋 翔平	アゾメチンイリドを用いる光学活性アミノ酸の自在合成法の開発	福澤 信一
	経営システム工学	33 柳下 翔太郎	ランダムウォークとその最大値の関数のマルチンゲール性について
電気・情報系	34 Ta Quang Ngoc	損失をもつ円筒による電波散乱の高周波近似解析についての研究	白井 宏
	35 Nguyen Minh Duc	誘電体ウェッジによる電磁波の回折についての近似解析手法の研究	
	36 佐藤 冬唯	確率的分散行動制御による領域探索アルゴリズムの検討	國井 康晴
	37 何 柯文	五層媒質装荷半無限平行平板導波管による平面波の回折	小林 一哉
	38 余 躍海	ゾルゲル電気泳動法により混合溶媒により作製した TiO ₂ /CNT 複合薄膜電極の光触媒活性	松永 真理子
生命科学	39 増田 彬宏	タンパク質の立体構造に基づくインシリコスクリーニングソフトの開発のための物理的かつ経験的なアプローチ	岩館 満雄
	40 武部 友亮	蝦夷層群産後期白亜紀鉍化植物化石群の系統分類学的研究	西田 治文

RA(リサーチ・アシスタント)制度は、中央大学が主体的に行う共同研究プロジェクトの研究活動の補助業務を行い、研究活動の強化・充実を図り、併せて大学院生の研究能力の向上に資するものです。理工学研究所・研究開発機構研究発表会と同時に開催し、後楽園キャンパスでの研究成果を一同に会した発表の場となります。お気軽に会場までお越し下さい。